
まじでか。

バナ子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まじでか。

【Nコード】

N9972H

【作者名】

バナ子

【あらすじ】

助けてかつこよくヒーローになるはずだったのに。後頭部に一発、お見舞いされたさ。

謝らないの、ヒロイン。

やあ、こんにちは。美男美女の諸君。

俺の名前は川上隼人。

結構カッコいいんでドウゾヨロシク。

と、自己紹介はこれ位にして、俺の目の前で事件発生。

可愛い子がナンパされてる。しかもめっちゃ嫌がってるし。

ここは男として助けちゃう？俺ヒーロー的な？

おっしや、俺助けちゃうよ。

「オイオイオイオイ、嫌がってんじゃーん。マジ、そーゆうのやめようぜえ？」

そう言おうと思って近づいたんだ。

したらさあ、降ってくんだよ。

俺に。

ズドオオオオオンツツてさ。

「やー！っ！！」

女の叫び声が聞こえたと思ったら。

ラクダみてえな顔した男が上から覆いかぶさって来て、俺は地面に後頭部をガツンツとな。

いてえの何のって。

めっちゃいてえ。

「あれ。ホントに出来ちゃった」

そう言ったのは、真ん中分けのでこっぱちの女。

たった今ナンパされてた女の事だよ。

女が大の男を投げ飛ばしてきやがった。

「そんなブツサイクのくせに、ナンパなんかしてんじやないわよ」
ラクダにそう言い捨て、立ち去ろうとするその女。

「ちよつとちよつとお、人にラクダぶつけといて謝りもしねえのかよ。オイ、どけよラクダ！」

俺はラクダにめいっばい叫ぶ。

おもてえな、このラクダ。

女の方は振り向きもしやがらねえ。

「オイそこの女！オイ！」

女はちらつとこつちを向いて、

「え？なに、アタシのこと？」

だよ。

「そう、アンタのこと」

自覚してねえのかよ。

やっとの事でラクダをどけて起き上がる。

「アンタ、俺にラクダぶつけといて謝りもしないわけ？」

うつわこの女、あからさまに嫌な顔しやがった。

「・・・これってさあ、アタシ悪くないよね？だって、ナンパしてきたのコイツだし。正当防衛、って言うの？」

言い訳しまくりかよ。

「でもそれが俺に当たったんだよ」

「だって、ホントに投げれると思わなかったんだもん」

「だとしても普通謝るだろ？」

女の顔がみるみるむくれてく。

普通にしたりやあ可愛いのに。

「・・・アタシ、松崎唯。キミは？」

「は？」

「だから、名前！」

は？意味わかんねえ。

「・・・川上隼人、だけど」

「じゃあ隼人って呼ぶから。アタシのことは唯ってよんではい？」

「単刀直入に訊くけど、隼人、アタシのこと好きでしょ？」

イヤイヤイヤ、

.....ワンモアプリーズ。

謝らないの、ヒロイン。(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9972h/>

まじでか。

2010年12月28日15時01分発行